

コンクリート構造物の配筋探査技術者 (建築)  
資格認証試験  
新規試験・再認証試験実施要領



一般社団法人 **日本非破壊検査工業会**

The Japanese Association for Non-destructive Testing Industry

資格試験センター

# 建築試験実施要領

コンクリート構造物の配筋探査技術者（建築）の建築学科講習（eラーニング）、建築学科修了試験（eラーニング）、建築実技講習、建築実技試験をそれぞれ下記の要領で実施します。

受験者はこの要領をよく読んで試験に備えてください。

## 1. 建築学科講習および建築学科修了試験

- 1) 受験者は、eラーニングによる建築学科講習を受講します。別途定められた講習期間内に全てのコンテンツの学習をしていただきます。
- 2) 建築学科講習の受講を終えた受験者には、eラーニングによる建築学科修了試験を受験していただきます。  
合格基準に達しない場合は、建築実技講習会受講資格及び建築実技試験の受験資格を得られません。
- 3) 建築学科講習、建築学科修了試験の内容は下記となります。
  - ① JASS 5におけるかぶり厚さの検査の規定類
  - ② 建築構造物のかぶり厚さ等に関わる建築基準法等関連規定類
  - ③ JASS 5 T-608におけるかぶり厚さの測定及び報告の方法
  - ④ 電磁誘導法に係る基礎知識（電磁誘導法の基礎、測定原理、装置構成、他）

## 2. 実技講習

実技講習は実技試験と同日の午前中に実施します。実技講習は、電磁誘導探査装置と建築実技講習用試験体を使用して行い、内容は下記となります。

- ① JASS 5 および JASS 5 T-608におけるかぶり厚さの検査のポイント、かぶり厚さ測定方法及び測定手順
- ② JASS 5 T-608による測定方法、測定結果の整理、棄却検定

## 3. 実技試験

- 1) 実技試験の30分前に試験会場とは別の部屋に集合し、試験の説明を受けてください。
- 2) 実技試験は、電磁誘導探査装置と建築実技試験用試験体を使用して行います。
- 3) 実技試験では、次のいずれかを選択して受験することができます。
  - ① 工業会で準備する装置を使用する。（表1参照）
  - ② 受験者による持込み装置を使用する。（表2参照）

表1 工業会で準備する配筋探査装置の機種

区分	メーカー等	機種
電磁誘導法	ヒルティ	フェロスキャンシステム PS200
電磁誘導法	Proceq	プロフォメータ 5シリーズ
電磁誘導法	計測技術サービス	鉄測

表2 受験者による持込みができる装置の機種

区分	メーカー等	機種
電磁誘導法	ヒルティ	フェロスキャンシステム PS250
電磁誘導法	ヒルティ	フェロスキャンシステム PS300
電磁誘導法	Proceq	プロフォメータ PM-630AI (PM-650AI)
電磁誘導法	エルコメーター（サンコウ電子）	331 <sup>2</sup> SH、331 <sup>2</sup> TH

(注) 表2の持込み装置については、試験開始前に保存している探傷データは全て消去していただきます。消去できない場合は、持込み受験ができません。

- 4) 受験者による装置持ち込みを希望する場合は、受験申請時にご希望の機種を選択してください。なお、受験申請後の機種の変更は認められませんのでご注意ください。
- 5) 試験内容の説明が終わったら試験会場に移動しますが、試験終了後は集合場所（説明会場）には戻れませんので荷物等は試験会場までお持ちください。
- 6) 解答用紙は試験会場で配布されます。試験時間は、35分です。解答用紙には受験地、受験番号、氏名、試験体番号及び使用機種を必ず記入してください。記入のない場合は採点の対象となりません。試験時間の35分には、必要事項の記入、マスキングシートの貼り付け、マスキングシートの取り外しは含みません。試験時間終了後直ちに解答用紙を回収しますので、時間内に終了するよう注意してください。
- 7) 試験体に線や文字を直接書き込むことはできません。また試験会場にはマスキングシート、直尺、マーカーが用意されていますのでこれらを利用してください。筆記用具以外の持込は認められませんので注意してください。

## 2. 使用する装置に関する注意事項

### 2.1 工業会で準備する装置を使用する場合

#### 電磁誘導装置

- 1) フェロスキャン PS200（ヒルティ）
  - ・必ず「クイックスキャンモード」で探査してください。
- 2) プロフォメータ 5シリーズ（Proceq）
  - ・特に使用上の制限はありません。
- 3) 鉄測（計測技術サービス）
  - ・特に使用上の制限はありません。

### 2.2 受験者による持込み装置を使用する場合

#### 2.2.1 一般注意事項

- 1) 受験申請の際に、ご希望の機種を選択してください。受験申請後の機種の変更は認められません。
- 2) 事前に連絡された試験会場の集合時間・場所に、持込み受験で使用する装置を持参してください。なお、当日、持込み装置の持参を忘れた場合、または試験開始前に持込み装置に不具合が発生し、これを使用できなくなった場合は、工業会で準備する表1の装置で、当日、使用可能である場合のみ、受験者が希望すれば、これを使用しての受験は可能とします。
- 3) 試験会場では、バッテリーで使用してください。試験途中でバッテリー不足にならないように、事前に充電をしてください。AC電源は使用できません。
- 4) 取扱説明書の持込みはできません。初期化状態から探査装置の操作ができるように取扱い方法に十分習熟しておいてください。
- 5) 試験開始前及び試験終了後に、探査条件・探査データ等のメモリを全て消去してください。試験開始前に、持込み装置のデータ等の削除が出来ない場合は、持込み装置による受験は認められません。ただし、工業会で準備する表1の装置で、当日、使用可能である場合のみ、受験者が希望すれば、これを使用しての受験は可能とします。
- 6) 持込み装置の操作方法に関する質問は一切受け付けません。実技試験中に持参した探査装置に不具合が発生した場合には、受験者自身で対応をしてください。

### 2.2.2 電磁誘導装置

- 1) フェロスキャン PS250 (ヒルティ)
  - ・必ず「クイックスキャンモード」で探査してください。
- 2) フェロスキャン PS300 (ヒルティ)
  - ・必ず「クイックスキャンモード」で探査してください。
  - 「イメージスキャン」は使用できません。
- 3) プロフォメータ PM-630AI , PM650AI (Proceq)
  - ・必ず「探査モード」又は「シングルラインスキャン」で探査してください。
  - 「マルチラインスキャン」、「エリアスキャン」、「クロスラインスキャン」は使用できません。
- 4) 331<sup>2</sup>SH , 331<sup>2</sup>TH (エルコメーター)
  - ・特に使用上の制限はありません。